

特定非営利活動法人 わっか  
2019年度 月次報告書

2020年  
1月

だれもがまるごと  
受けとめられる  
社会をつくる



NPO 法人 わっか

# vision

## だれもが、まるごと受けとめられる社会

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

### 子どもを取り巻く環境について

子どもたちは「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り仲間も時間も空間もなくなりつつあります。私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたいという思いで居場所づくり事業 や 出会いと学びを育む事業 などを行っています。

### 事業内容

1

#### 居場所づくり事業

月ようわっか 日ようわっか Waccafe のっぱらわっか

2

#### 出会いと学びを育む事業

寺子屋わっか、こどもの夢中全力サポート事業、講演会  
若者の生活・就労支援

3

#### 放課後児童クラブ事業

さかっこクラブ

月ようわっか  
毎週月よう日  
15:30~20:00

のべ人数

こども **62** 名 (**43** 名) 大人 **15** 名 (**4** 名)

※ ( ) 内の人数はご飯を食べた方 (もち帰りも含む)

毎週月よう日の放課後に必ずひらかれる場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで「ルールがない」がルールです。子どものみちくさできる場所、子どものたまり場として場をひらいています。

6日 こども **15** 名 (**6** 名) 大人 **3** 名 (**0** 名)

メニュー：ごはん、七草の味噌汁、豚肉とキャベツの味噌炒め、こんにゃくのおかか炒め

13日 こども **14** 名 (**11** 名) 大人 **2** 名 (**0** 名)

メニュー：ごはん、じゃがいもとえのきの味噌汁、小松菜のおかか和え、キャベツと厚揚げの肉味噌炒め

20日 こども **18** 名 (**14** 名) 大人 **5** 名 (**2** 名)

メニュー：ちらしずし、ほうれん草のすまし汁

27日 こども **15** 名 (**12** 名) 大人 **5** 名 (**2** 名)

メニュー：ごはん、厚揚げとちくわの味噌汁、ほうれん草のバターソテー、じゃがいものそぼろ煮

### ▼番外編

月曜日の人数が多すぎて、ゆっくりできないという声に応じて、金曜日もひっそりと開けるようになりました (17:30 ~ 20:00)

10日 こども **4** 名 大人 **1** 名 17日 こども **3** 名 大人 **1** 名

24日 こども **7** 名 大人 **2** 名 31日 こども **5** 名 大人 **1** 名



## nobi と asuka アメブロ「月ようわっか」

あすかは  
月ようわっかに来るみんなへ  
ごはんをつくっています

そして  
個別に関わっている子にも  
ごはんをつくっています

たくさんが苦手な子や  
特に関わりを深めたい子には  
個別の関わりをしています

ごはん食べながら  
何でもない話しをして  
笑って

またね  
と  
いうのをくり返しくり返し…

そのうちに  
本当は誰かに聞いてほしくても言えなかったこと  
ずっと抱えていたわだかまり  
ぽろりぽろりと話してくれるようになります

ある日のこと  
ごはんを食べようと日を合わせたので  
わっかでごはん作っていると

「明日早起きしたいからまた今度にしてー」  
と連絡が

そんな事も気軽に連絡くれる事に  
嬉しさと  
安心と

1人欠けた食卓は  
少しさみしさの風が吹きました



おやすみでした。

そのときの思いを書いたブログを加筆し転載します。

1月の日ようわっかのある土日は、妻が仕事なので、次女（6才）に「あしたは、一緒に古民家あけるよ」と伝えると「行きたくない」という。「でも、ままいないし、いかないと家にばばも、ままもないから、一緒にいこうよ」と言うんだけど「いきたくない」と言う。

最近、次女は日ようわっかにボクと一緒に行かなくなっていた。1年ほど前までは必ず一緒に来てくれていたのにね。いまは、ぼくと4才の息子と過ごすことが多く、次女と長女は妻と一緒に過ごしている。なので、妻のいない日を開ける日にすると、こうなることは可能性としては、わかっていたんだけど。

予定にいれてチラシをくばっちゃったのさ。こうなった次女にこれ以上、お願いをしても気持ちが変わることはない。ぼくは、日ようわっかを開けるのをやめて、すべき対応（連絡）を終わらせた。

古民家をあけると、来てくれる人への願いのようなものがある。それは、来たいときに来て、来たくないときには来なくていいだ。そのために予約不要・参加費無料にしている。6年目になり、ここに来ている人は、みんな来たいから来ている人たちになっている。だからだろう、とっても居心地がいい。

本人が行きたくなくても、行かないといけない『場』というものがある。学校、職場、習い事、地域のあつまり、そういう場はある。そこを想像してみると、ぼくは呼吸が浅くなり、しんどい。

行きたくないのに、行かないといけないというのは、とっても苦しい。でも、そこに行かないといけない。みんな行っているから、行くように言われるから、収入のため、将来のため。自分が納得していれば、いいのかもしれない。でも、行きたくないのに、親、世間の目を気にして行っている。苦しいね（すーは一）

わっかはそうではない場所にしたい。行きたくないときは行かない、でも行きたいときはいける。そして、行ったときは、いつもと変わらない雰囲気がある。そういう場が、自分の生活の中に1つはあってもいい。1つあることで、生活のしんどさを与えている原因はそのままで、なんとか生活していこうかと思えるんじゃないかな。わっかが、できることはそういうことかなあ。

その場所に行きたくないと言った娘が言う。開けている側の立場として、開けたくなった。娘に、なんとか行こうと誘ってしまった。でも、それは一番身近な人に、しんどさを与えてしまっていた。そう気づい

て、「いいよ、明日はなしにして、1日あそぼうね」と言うと、娘は「ありがとう」と言った。

でも、その「ありがとう」は言わせてはいけなかったのかもしれない。ぼくのほうが、娘にありがとう、と言わないといけない。

LINEでグループを作っている。常連さんたちで連絡を取りあうものだ。そこに、日曜日あけられないこと、その理由をおくる。すると、すぐに返事が来た。

**子どもが居るとそんな時もありますね😊**

うれしかった。いつも、一緒に過ごす人たちのおかげで、この活動は続いている。これからも、この人たちとすごしたいから、日ようわっかは、月に1回か2回しか開けられないけど、古民家を開け続けたいって思う。

たぶん、この場にボクが一番救われている。（自分語りですみません。）ここを開いているときは、楽にすごせる。しんどさを打ち明けられるわけでもないし、ただ一緒にすごしているだけなのに、とっても楽だ。

ボクは自分のしんどさを打ち明けるのは、しんどいからしたくない。だから、打ち明けなくとも、ご機嫌ですごせる場があればいいと思う。『支援』などではそこを打ち明けないといけない。それは、そうでないと、支援するための方針や、計画を建てられないから。

でも、ただ開けている場であれば、それをしなくっていい。ボクは、それなりにしんどさを抱えていると思う（でも、それはボクだけじゃないと思う）。しんどさは比べられるものでもない。その人、個有のものだ。だから、ボクは、みんなにあるし、あっていいと思っている。

でも、これは誰かに伝えたいとも思わない。だってわかってくれると思わないし、そういう体験をしてきていないから、打ち明けるのが怖くもある。個有のものとはそういうものかもしれない。

でも、そんなこと抜きに、ほっとできる場がある。来ている人たちがどうなのかはわからない、聞こうとも思わない。でも、ボクは現にここで救われている。本当に、いい場所になっているなって思う。みなさんにとってもそういう場なら嬉しいです。

waccafe 10:00~14:00 金曜日

10、17、24日 のべ13名

珈琲の落ちる時間を楽しんでいる自分に、ふと気づき、  
ゆっくりと呼吸しはじめる…来る人が  
そんな時間や空間になればという思いを込めた waccafe。



のっばらわっか 10:00~夕方（子どもたちが帰るまで）

おやすみです（写真はこれまでの様子）。

野天の下、広い野原で好きずきに過ごす。雨に見舞われた時にはずぶぬれになりながら遊び、強風の時は  
パラソルを広げて自分も浮いてみたり。山に登りだす子、火を起こしに夢中の子、本を読んで動かない  
子、ごっこ遊びをはじめの子、自分がやってみよう！にチャレンジできる、そんな場です。



寺子屋わっか 毎週水曜日 18:30 ~ 20:00

8、15、29日 のべ13名

「テレビの音も周りもうるさすぎる！」 「宿題する場所がほしい！」 大人数兄弟の子が声を上げた事から  
はじめた寺子屋わっか。小学生から中学生の子ども達がスタッフと一緒に学習しています。



## 2018年4月より米原市放課後児童クラブを受託しています。

2017年から米原市から放課後児童クラブの運営を委託され、現在までその事業目的である保護者が就労により、放課後、保護者が家庭にいない子ども達に対して、適切な遊び場と生活の場を提供してきました。今回、2020年2月27日に新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、安倍晋三内閣総理大臣が公立学校の臨時休校を行うように各自治体に要請がなされました。他方で同日夜、厚生労働省は「保育園と学童保育は一斉休校の対象ではない」旨の会見を行いました。それに伴い、わっかは、放課後児童クラブを受託する法人として、米原市に対して申し入れを行いました。

具体的には、厚生労働省の見解に基づき、小学校の臨時休校中について放課後児童クラブは長期休暇中と同様の対応を取り、開所することを市に対して要望しました。そもそも、学童保育の事業目的は保護者が就労により日中に適切な保育が行えないことを社会的に補完するものです。今回の学校休校中も、放課後児童クラブを利用する世帯の保護者は当然に就労中であり、日中の保育を行うことができません。よって、わっかとしても開設を行うことを強く要望しました。

なんのためにやっている事業なのか、学童保育は、子ども達の生活の場であり、保護者の就労を支える場であることをよく考えた対応を切に願いながら、私達は、より一層、子ども達の居場所となる生活の場をつくり続けることに励み続けます。



## 事業の目的

子どもがまるごと受けとめられる経験をし、夢中になれるものを見つけ、安心して自分が夢中になるものをやりぬくことで、結果的に成長することを目的とした事業です。そのために、小中学生に、彼らが夢中になるものをやりたいように突き詰めるサポートを、一緒に過ごすスタッフやと子どものやりたいことの分野における専門家が行う。スタッフと専門家が、子どものやりたいことを見守りつつ必要に応じて、学習面、生活面までのサポートし結果として子どもの学力の向上を目指します。

中学生の参加者 N くんが、ほぼ毎回すごした様子を Facebook に投稿しています。

Facebook ページは 『子どもの夢中全力サポート事業』 で検索できます。

フォローや『いいね』をいただくと N くんのもちベーションになります。

## N くん の FB への投稿より

17日

みなさんあのね、今日は新しいスタッフのきらっちが来て、僕はパソコンをして、小学生兄弟は iPad を使って楽しくやったよ。良かった〜♪

24日

こんばんは！みなさん、あのね今日はパソコン■をしたよ♪小学生兄弟は iPad をしたよ♪楽しかったなあ！

31日

こんばんは！みなさん、あのね！今日で、一旦パソコン作業■を打ち終えたよ！やったあ♪小学生兄弟は、iPad を用いて検索等をしていたよ！楽しい♪



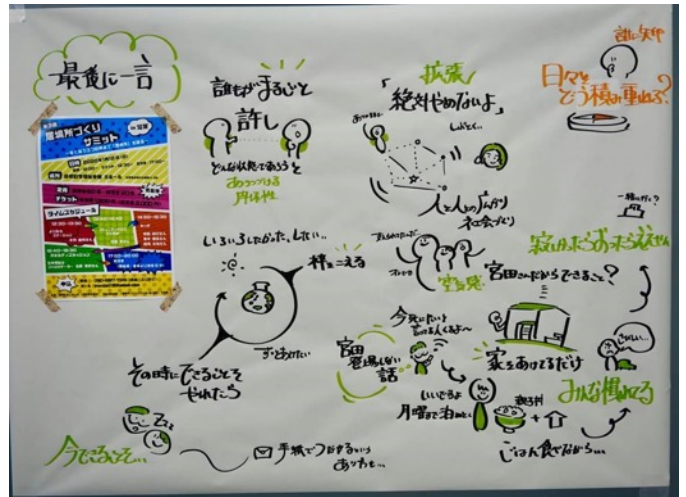


# 居場所づくり サミット in 滋賀

2018年より1年に1回開催している居場所づくりサミット。  
みなさんのご参加により、今年で3回目を迎えました。  
今年度は、宮田隼さんと小林由枝さんをお招きして  
居場所づくりについてみなさんと考えました。

【参加者】 講演会 **33** 名 交流会 **11** 名

第3回 居場所づくりサミット in 滋賀  
— 全く違う3つの視点で「居場所」を語る —  
日時 2020年1月12日(日)  
開場: 12:00 ~ サミット: 12:30 ~ 交流会: 17:00 ~  
場所 居場所づくり推進館 大ホール (滋賀県彦根市文庫町4-20)  
定員 講演会60名・交流会20名 先着順  
チケット 参加費 1,500円 (交流会 2,000円)  
プログラムスケジュール  
12:30-13:30 13:40-14:40 14:50-15:30  
15:40-16:30 17:00-20:00  
申込 電話: 090-6877-7318 (連絡: 高田 友子)  
Eメール: wacca23@gmail.com  
主催: NPO法人WACC (滋賀県推進) Facebook: 「居場所づくりサミット in 滋賀」にて検索



# みなさまからの 寄付など

わっかが、古民家を『参加費無料』で開放をできるのは、  
みなさんのご寄付やご助成による支えによります。  
2020年1月にいただいたご寄付、ご支援とマンスリーサポーターの方  
助成団体さまのご紹介させていただきます。

## 1月にいただいた物品でのご寄付（敬称略） <>内の方から頂きました

ネギ < 2000 縁やさい箱 >	子ども服 < ご近所の方 >	野菜、果物 < ご近所の方 >
ラーメンなど < わっかの常連 >	チロルチョコ < 子ども食堂ネットワーク >	

## マンスリーサポーター（定額寄付会員） 11名（敬称略）

大溪 麻紀子	福地 真路	後藤 基志
マコトヤ	佐藤 真紀	佐藤 桃子
廣部 奈緒美	前田 諭	

氏名の掲載をご許可いただいた方のみ掲載しております

## 助成団体（敬称略）

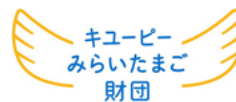
米原市役所



Coop



キューピーみらいたまご財団



子供の未来応援基金



## 寄付者の声

行ける日がなかなか作れないのですが、ひとまずお金で応援させてください。  
わっかが、今まで通り、みんなの安心できる場所でありますように。



団体名	特定非営利活動法人 わっか
住所	〒521-0012 滋賀県米原市米原 178 番地 5
電話	070-1803-1059
メール	wacca235@gmail.com
ホームページ	<a href="http://bouken-asobiba.jimdo.com">http://bouken-asobiba.jimdo.com</a>
Facebook ページ	<a href="https://www.facebook.com/wacca2014">https://www.facebook.com/wacca2014</a>
Ameblo	<a href="https://profile.ameba.jp/ameba/wakka-moon">https://profile.ameba.jp/ameba/wakka-moon</a>
note	<a href="https://note.com/furicadodaisuke">https://note.com/furicadodaisuke</a>
You Tube	<a href="https://www.youtube.com/channel/UCcsGFAlpNqxDu78DkO1zY2g">https://www.youtube.com/channel/UCcsGFAlpNqxDu78DkO1zY2g</a>

ホームページ

FB ページ

Ameblo

note

You Tube



2020 年 2 月 29 日発行